

# 愛のあるコミュニティへ向けて

～まなび・障がい・アート・こころ・いのちからの発信～

日時 2005年6月19日(日)午後2時～5時

場所 電気通信大学 80周年記念館 3階会議場(調布駅徒歩3分)

主催 特定非営利活動法人 海から海へ

後援 調布市 電気通信大学 調布市教育委員会

参加費無料(平成17年度調布市社会教育関係団体補助金交付事業)



ひまわり ©Mizuki Tanaka 1994

## プログラム

### I. こころのつながりを作るワークショップ

山西優二

### II. パネルトーク

・パネリスト

黒岩秩子 『障がい』と『こども』の視点から

本江邦夫 『アート』の視点から

佐藤 誠 『こころ』の視点から

酒井一真 『いのち』の視点から

山西優二 『まなび』の視点から

・コーディネータ

阿部愛子

### III. 全体での意見交換

人はひとり一人がかけがえのない存在です。私たちは、ともに喜び悲しむ関係によって作られた人と人とのネットワーク(愛のあるコミュニティ)の中に真の価値があると考えます。本シンポジウムは、さまざまな視点から問題提起と分析を行い、愛のあるコミュニティの構築へ向かう力を生成することを目的として開催されます。

特定非営利活動法人 海から海へ

2003年10月発足以来、コミュニティにおいて、アート・こころ・福祉の側面から活動を展開してきました。障がいのある油絵作家のアリエを公開し、画家の作品展示や、チャリティコンサートの開催などを通して、アートの力により人々に感動をもたらし、コミュニティにおける人々のネットワーク形成に寄与しています。最近の「出前ミュージアム」では、生活の場でアートを触媒とした対話や協働の輪が広がっています。さらに、こころとふくしの研究所において、こころの深みから真の豊かさを人々にもたらす研究実践活動を行っています。

山西優二(やまにし・ゆうじ)

神戸大学経済学部卒業。商社勤務の後、アメリカへ留学し、またアジア各地を放浪する。帰国後、早稲田大学へ学士入学し教育学を学びつつ、NGOの立場から開発教育や人権教育に携わる。専門は比較・国際教育学。現在、早稲田大学文学部教授、開発教育協議会理事、返子小学校施設開放管理運営委員会委員長、返子市社会福祉協議会理事など。著書に「わかちあいの教育—地球時代の『新しい』教育の原理を求めて—」(近代文芸社)「つなぐれ開発教育—学校と地域のパートナーシップ事例集—」(開発教育協議会)など。

本江邦夫(もとえ・くにお)

1948年愛媛県松山市に生まれる。東京大学文学部、同大学院で主として近代美術史を学ぶ。1976年修士課程修了後、同年秋より東京国立近代美術館に勤務。展示会の企画を中心とした美術史的な研究と並行して、現代美術に関する批評活動にも従事し、1994年および1996年のサンパウロビエンナーレで日本側コミッショナーをつとめる。企画・資料課長、美術課長を経て、1998年4月より多摩美術大学教授。2001年4月より府中市美術館館長を兼務。著書「ポール・ゴーガン」(千趣会)、「〇△□の美しさって何?—20世紀美術の発見」(ポプラ社)、「絵画の行方」(スカイドア)など。

酒井一真(さかい・いっしん)

浄土真宗本願寺派西照寺前任職・武蔵野大学評議員。調布市在住。

黒岩秩子(くろいわ・ちづこ)

1940年名古屋で生まれる。東京大学理学部数学科卒業後、都内で教諭、保恵学園保育園(調布市)保育士。1971年新潟県南魚沼郡大和町浦佐にて保育士。2001年繰り上げ当選で参議院議員5ヶ月。現在浦佐にて、こどもや障害のある人との育てあいの場大地塾主宰。著書「7人の母、国会に行く」(築地書館)、「未来を育む大地から」(径書房)など。

佐藤誠(さとう・まこと)

1961年日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程修了・東京大学医学部精神神経科研究生修了。日本大学文理学部助手、専任講師、助教授を経て、1984年同大学教授。2002年定年退職。東京神学大学講師、自由学園講師・スクールカウンセラー、日本精神衛生会参与、調布市社会福祉事業団評議員、東京多摩いのちの電話運営委員・研修スタッフ、NPO法人「海から海へ」こころとふくしの相談室カウンセラー。著書「家族心理学入門」(培風館)、「心の危機をとらえる20講」(学陽書房)、「親子の心理とウェルネス」(至文堂)、「心理療法」(啓明出版)など。調布市在住。

阿部愛子(あべ・あいこ)

1950年東京で生まれる。2004年日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士前期課程修了。NPO法人「海から海へ」こころとふくしの研究所所長。中学校スクールカウンセラー、プレみずき学芸員。障がいをもつ娘の「みずき美術館」設立準備中。著書「絵はコミュニケーション」(燦葉出版社)、論文「知的障害をもつ子どもの親の心理変容」など。調布市在住。